



新屋舎完成！震度7に耐えられる建物です。50年先の未来を見据えています。

社会福祉法人いたる臨床発達指導センターとして創立し2012年（平成24年）9月11日に45周年を迎えます。創立時の精神「いたる文化」は、「障がいも重くても、働く意思があれば、施設を利用していただく」という事です。働くことにより社会参加し所得を得て自立を促し、社会のお役に立つヒトになって欲しいという願いも込められています。

いたるセンターの名称の意味は、「臨床II医療・福祉・労働の現場」「発達II発達支援」「指導II就労指導」「センターII中心（日本・東京の中心）」は、単に杉並区のみならず、日本・東京の福祉の中心」として自主独立の運営を

めざす法人ということですが、新屋舎が完成したこの機に、いたるセンターの原点に還り、「阿佐谷福祉工房」に名称をチェンジしました。

生活施設・公立施設というイメージからの脱皮と、「働くことで社会とつながることをめざします」という施設の使命から命名しました。「ジャン・イタルの思想」を継承し、創立以来の理念に立ち戻り大きく変わりゆく時代において社会福祉法人としての使命を果たすことにつながる名称です。

その基本理念は、「自立と共生を求めて、個性が響きあう、しなやかな社会を目指します」「すべての人が、社会との関わりの中で、自分ら

しさと向かいあい、一度きりの人生を、自分らしく、生きることができるよう、出会いを、時間を、今を大切に思いやりと優しさを、未来につながる、自分のために、社会のために」と謳っています。

いたるセンターが中期事業計画に掲げている一つに「複合化施設を拠点に地域福祉を確立」があります。

阿佐谷福祉工房・クローバーは、その拠点としての役割を果たします。サポートウイズ、グループホーム・ケアホームも同様に地域福祉の社会資源として皆様のお役に立ちます。

今後とも皆様のご理解ご協力のもと、よろしくお願いたします。

### 創立45周年目のチェンジ「阿佐谷福祉工房」

阿佐谷福祉工房長

今 秀則



いたる通信

ITARU CENTER

44

新年度号

#### 目次 contents

- 01 巻頭言
- 02 日黒木町福祉工房あけぼの作業所グループホーム&ケアホームサポートウイズ
- 03 いたる相談室クローバー
- 04 阿佐谷福祉工房

**いたる賛助会入会のご案内**

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費 1,050円（何口でも可）  
郵便振り込み 00107 128892  
（問）339217346 事務局 逢田まで

## 法人新屋舎 阿佐谷福祉工房&クローバー案内図

### 屋上等で野菜の栽培

上2カ所を農園にして野菜作りなどを行います。屋上緑化によるエコ対策とご利用者様の日常の仕事場となるように活用していきます。今後の野菜の生産にご期待下さい。



屋上庭園の様子

### 震災時の避難路の確保

避難用滑り台をはじめ避難用階段、避難はしこ等随所に避難路を確保しています。



避難用滑り台



2階

### 通

常の浴室に加え、機械浴室を設けたことにより、今まで以上にクロアバのご利用者様の受け入れを行いました。

### 機械浴室を導入



機械浴設備

今まで以上にクロアバのご利用者様の受け入れを行いました。

### 自 エントランスホール

主生製品の販売コーナーの設置を予定しています。



1階

### 食堂と地域活動室

地域活動室は、体制が整いしだいで地域の方々との交流スペースとなるようにしていきます。利用方法等につきましては、決まりましたらお知らせします。



地域活動室

### 防災用の井戸と発電機

震災時の生活用水として使用する掘りました。BDF燃料用発電機の完備も安心に、安全・安心に向けた体制を進めてまいります。



井戸



談話コーナー



【エントランスホール】

下足コーナー

### 日本財団より寄贈

阿 佐谷福祉工房のご利用者様の送迎等で使用するための車として、日本財団様よりホンダステップワゴンを1台ご寄付いただきました。大切に使用させていただきます。



### 平成23年度 国家資格合格者

- 【精神保健福祉士】 山崎智子
  - 【社会福祉士】 藤木 恵
  - 【介護福祉士】 前田彩香
  - 白滝則男
  - 文野正広
  - 篠原京子
  - 松本ふみ
- 合格したスタッフの皆様おめでとうございます。

### いたる広報委員

発行責任者=谷山 哲浩  
社会福祉法人いたるセンター  
〒167-0032  
東京都杉並区天沼1-15-18  
TEL: 03-3392-7346  
FAX: 03-3391-8039  
Eメール: info@itarucenter.com/  
HP: http://www.itarucenter.com/  
発行日/平成24年4月1日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。いたる広報委員まで。



### 目黒本町福祉工房

#### 新団長日記

室長 村瀬 史貞

春の足音を聞きながら、  
だ手を合わせて祈ること  
たしかでなかつたあの日  
から一年の時が過ぎ、肅々と  
した気持ちと寄り添う間もな  
く慌ただしく時間ばかりが過  
ぎている。

年度の切替は例年忙しいも  
のだが、今年は忙しさがプ  
ラスされ、感情の均衡(コン  
トロール)を保つのに必死の  
状況にある。  
遙か彼方の存在に思えてい  
た4月が春の気配とともに足

音高く駆け寄ってきたからに  
違いない。  
「いよいよ始まるぞ」という  
覚悟と慣れ親しんだスタッフ  
との別離への寂寥感が混じり  
あい複雑な精神状態におかれ  
ているが、為すべきことを残  
り少ない日々の中で計画的に  
進めていくことで確かな手応  
えに繋げていきたいと思っ  
ている。  
さて指定管理初年度の事業  
計画を作成するにあたって、  
重点課題を利用者並びにご家  
族からの信頼の獲得に置いた。  
怪我・事故は絶対に起こさな  
いという強い意識を持ち、徹  
底して安全に重きを置いた支  
援をしていきたいと考えてい

る。安全に過ぎた一日一日を  
積み重ねていくことで、信頼  
が生まれ、新しい絆へと繋が  
っていくと確信している。  
春の足音を聞きながら、前  
を向いて歩んでいきたい。



目黒本町福祉工房の外観

### グループホーム & ケアホーム

#### 安全・安心の実現へ

阿 佐谷福祉工房(旧・阿佐  
谷生活園)の新居舎完成  
に伴い旧本部事務所があった  
荻窪北マンション305号室  
がグループホーム・ケアホー  
ム(以下GH・CH)事業部  
の統括本部となりました。  
GH・CH事業本部では事  
務員を含め平日はスタッフを  
交代で常駐させて、緊急時の  
対応も速やかにできる体制を  
とっていきます。

入居者でインフルエンザ発  
症等隔離が必要になった場合  
にはGH・CH事業本部また  
は1階のサポートウイズの部  
屋を利用して家に帰れない入  
居者の対応を行います。  
シヨートステイのクローバ  
ーとして利用していた清水の  
物件は今秋には第11ホームと  
して開所予定にしています。

いままでも会議などで利用し  
ていた荻窪北マンション20  
2号室は体験型やサテライト  
型のGH・CHとして活用し  
ていく予定です。

これからは今以上に入  
居者のご本人様、ご家族様を  
はじめ、スタッフの方も気軽  
に相談できるような体制作り  
を心掛けていきます。  
是非、皆様のご利用をお待  
てしています。

### サポートウイズ

サポートウイズは多種多様  
のサービスを行っていま  
すが今回は介護保険訪問介護  
を紹介させていただきます。  
ご存じの通り平成12年から  
始まった介護保険事業も12年  
経ちました。利用者数も右肩  
上がりに増加しています。  
昭和22・23年生まれの第一  
次ベビーブームの方達が来年  
より介護保険の世代に入りま  
す。ますます右肩上がりにな  
ることでしょう。

介護保険では各地区で介護  
予防教室を開催し、いくつに  
なっても元気で在宅生活を送  
れるように努めています。

介護予防は要支援1、2、  
経過措置、介護保険は要介  
護1・5迄あり、利用料金に  
ついて介護予防は1ヶ月の定  
額制、介護保険は介護度によ  
り利用できる単位数があり利  
用単位数×10(杉並区は11.05  
加算)の1割負担が基本です。  
支援内容は、身体介護、生  
活援助があり、身体介護は入  
浴、清拭、排泄介助、通院介  
助(一部自費)等を行って  
います。生活援助は独り暮らし  
の高齢者の食事作りや環境整  
備を(掃除等)行っています。  
介護保険では理美容室、デ  
パートへ出掛けの買い物、  
同居家族の洗濯や食事作り等  
はできません。将来的には高  
齢化社会に備えての事業展開  
をしていく予定です。

### あけぼの作業所

#### タイカレの移動販売

本財団から助成をいた  
だき、キッチンカーを導入  
することにしました。

当作業所では、タイカレ  
(グリーンカレー)を缶詰加  
工して自主生産品として販売  
しています。

一般のものより辛さを抑え  
子供から大人まで幅広い客層  
に食べてもらえる商品になっ  
ています。

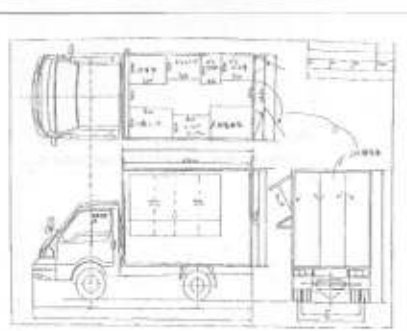
しかし、カレー類に属する  
ため各種イベント時の模擬店  
として販売することが難しく、  
多くの方に食していただくこ

#### クッキング担当 山田 弘子

とができませんでした。今後  
は、イベントや日常販売の営  
業に向けて準備を行っていき  
ます。

このキッチンカーは、法人  
の阿佐谷福祉工房で製造して  
いるBDF燃料を使用出来る  
ように、ディーゼル車を使用  
ベイスにしています。搭載  
する発電機もディーゼル仕様  
です。これにより、他事業部  
の障害者の就労に貢献するこ  
ともできます。

また、震災時には、水の補  
給や温かい食事の提供が容易  
にできるようになります。



キッチンカー想像図

### いたる相談室

いたる相談室長 春山陽子

#### 平成24年度からの動き

厚生労働省は、平成24年度  
から平成26年度までの3  
年間に、サービスを利用して  
いる方全員(ただし移動支援  
は除く)に「サービス等利用  
計画案」を作成(セルフプラ  
ン作成もあり)するとし、杉  
並区は、いたる相談室などの  
相談支援事業所を月1回以上  
利用している方から、本人主  
体の計画を順次作成していく  
方針を出しています。利用計  
画は、それを参考に、利用計  
画が支給決定をし、また、実  
際のサービスを提供している  
支援者共通の目標となるもの  
です。計画の作成後に、必要  
な回数での訪問等(モニタリ  
ング)を行い、サービスが適  
切に提供されているか確認い  
たします。いたる相談室の利  
用者の方には説明会を開いて  
いますが、家族の方、施設の  
保護者会などでも説明をする  
予定です。

#### ストロベリーカフェ & ハイビスカス

相談員 厚地 朋子

いたる相談室では、在宅の  
サービス利用が難しい  
方向けに、グループワークを  
毎週火曜(ストロベリーカフ  
エ)と金曜(ハイビスカス)



ストロベリーカフェ『チョコ作り』

### クローバー&マルコからのお知らせ

#### 新 月間借りをしている現物

件とも別れの時期が近付い  
てまいりました。  
建て替え期間中、ご協力い  
ただきありがとうございます。  
今後の移転時期とそれに伴  
う変更部分をお知らせいたし  
ます。

#### マルコ(児童日帰りシヨ ートステイ)をご利用の 皆様へ!

児童日帰りシヨートステイ  
を新居舎のクローバーで  
行う事になりました。  
名称もマルコからクローバ  
ーに変更いたします。  
3年間ではありましたが、  
荻窪北マンションでのご利用  
誠にありがとうございました。

#### 移転に伴うお知らせ

- 〔休業期間〕  
平成24年4月16日(月)  
4月22日(日)
- 〔閉所時間〕  
日帰り：4月15日(日)  
16時30分まで  
宿泊：4月16日(月)  
10時まで
- 〔住所・電話・FAX〕  
住所：〒167-0032  
杉並区天沼1-15-18  
〔新居舎開所日時〕  
平成24年4月23日(月)  
11時以降

### サポートウイズ

サポートウイズは多種多様  
のサービスを行っていま  
すが今回は介護保険訪問介護  
を紹介させていただきます。  
ご存じの通り平成12年から  
始まった介護保険事業も12年  
経ちました。利用者数も右肩  
上がりに増加しています。  
昭和22・23年生まれの第一  
次ベビーブームの方達が来年  
より介護保険の世代に入りま  
す。ますます右肩上がりにな  
ることでしょう。

介護保険では各地区で介護  
予防教室を開催し、いくつに  
なっても元気で在宅生活を送  
れるように努めています。

介護予防は要支援1、2、  
経過措置、介護保険は要介  
護1・5迄あり、利用料金に  
ついて介護予防は1ヶ月の定  
額制、介護保険は介護度によ  
り利用できる単位数があり利  
用単位数×10(杉並区は11.05  
加算)の1割負担が基本です。  
支援内容は、身体介護、生  
活援助があり、身体介護は入  
浴、清拭、排泄介助、通院介  
助(一部自費)等を行って  
います。生活援助は独り暮らし  
の高齢者の食事作りや環境整  
備を(掃除等)行っています。  
介護保険では理美容室、デ  
パートへ出掛けの買い物、  
同居家族の洗濯や食事作り等  
はできません。将来的には高  
齢化社会に備えての事業展開  
をしていく予定です。

#### ご寄付・祝いの品のお礼

阿 佐谷福祉工房及びクロー  
バーへの新居舎のご寄付  
としてY様より100万円い  
ただいたのを始め、多くの方  
が落成記念のご寄付や祝いの  
品を寄贈して下さいました。  
また、小森谷敏夫様より、  
GH・CHへ500万円のご  
寄付をいただきました。各ホ  
ームのバリアフリー他に使用  
させて頂いたいただきありがと  
うございます。この場をお借りし  
て厚く御礼申し上げます。  
今後とも皆様のご協力よろ  
しくお願いいたします。



現在のクローバーの外観

#### いたるセンター義援金

一刻も早い被災地の復興を願う  
とともに、ご協力いただいた皆  
様に心より感謝申し上げます。  
引き続きご協力のほどよろしく  
お願いいたします。  
義援金は、杉並区経由で福島県  
南相馬市へ送っています。  
(間)3392-7346  
本部 浅野まで